



広 報 資 料

平成31年1月10日
午後5時発表

問い合わせ先

第一管区海上保安本部 海洋情報部

海洋調査課長 高梨 泰宏

0134-27-0118 (内線2530)

冬の使者「流氷」が網走沖に接近

第一管区海上保安本部 海氷情報センターでは、今季初の航空機による海氷観測を1月10日に実施し、オホーツク海を南下中の流氷が、網走の北方約110kmまで接近していることを確認しました。

1 海氷観測の日時・方法

観測日時：平成31年1月10日 9時50分～14時00分

観測方法：千歳航空基地所属 ボンバル300型航空機 (MA724、

愛称：おおわし2号 機長：後藤 俊英)による海氷目視観測

2 海氷分布状況

オホーツク海を南下中の流氷本体は、1月10日午後零時現在、網走の北方約110kmまで接近しています。その南端付近の氷は、小板氷と砕け氷、板氷、はず葉氷()が多く見られました。

上記位置付近における流氷南下の確認は、昨年と比べ4日程度遅く、一昨年と比べると6日程度遅い状況です。

なお、海氷分布状況は、今後の風や海流の影響により大きく変化することもありますので、付近を航行する際には、十分に注意して頂くようお願いします。

()氷の種類

海氷とは海水が凍結してできた氷、海上にある氷の総称。

板氷(Ck)	直径が20mより小さい比較的平坦な板氷
小板氷(Cs)	直径が2mより小さい板氷
砕け氷(Br)	様々な形に砕けた氷片(直径2m以下)が集まっているもの
はず葉氷(P)	縁がまくれ上がったほぼ円形の氷塊、直径30cm～3m

3 ホームページによる情報提供

今回の航空機による観測結果は別図のとおりです。今後、同様の観測を行った際には海氷情報センターのホームページに随時掲載していきます。

また、衛星画像等から解析した海氷の分布状況を「海氷速報」として毎日提供していますのでご利用下さい。(午後5時頃更新)

海氷情報センターホームページ

URL <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN1/1center.html>

検索サイトから、キーワード「海氷情報センター」で検索

